

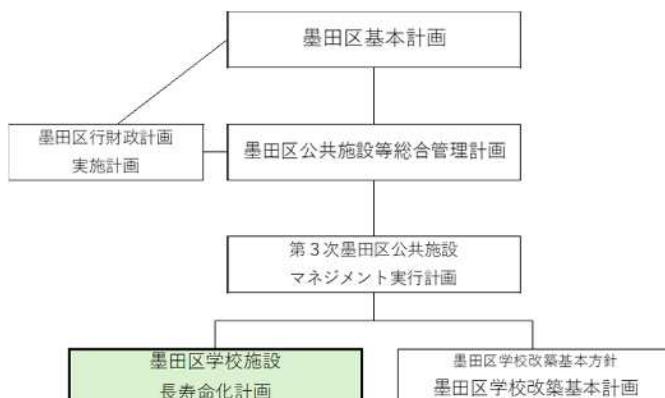
「墨田区学校施設長寿命化計画（改定版）」（案）（改定の要点）

「墨田区学校施設長寿命化計画」の背景・目的等

1. 背景・目的

区の学校施設は、小学校の72%（18校）、中学校の40%（4校）が建築後、50年以上を経過しており、学校施設の老朽化が進んでいます。

教育委員会では、学校施設に求められる機能・性能を確保しつつ長寿命化を図ること、維持管理・改修コストを低減・平準化することを目的に令和2年度に「墨田区学校施設長寿命化計画」を策定し、長寿命化に必要な改修を実施してきました。策定から5年が経過し、改築について「墨田区学校改築基本計画」を策定することなどから、本計画について見直しを行うこととしました。



改築に関する事項は新たに策定する改築基本計画に引き継ぎます。

2. 計画期間

計画期間は、前計画の後半の令和8（2026）年度から令和12（2030）年度までの5年間とします。令和12（2030）年度に見直しを行い、その際には改築基本計画との一体的な策定について検討します。

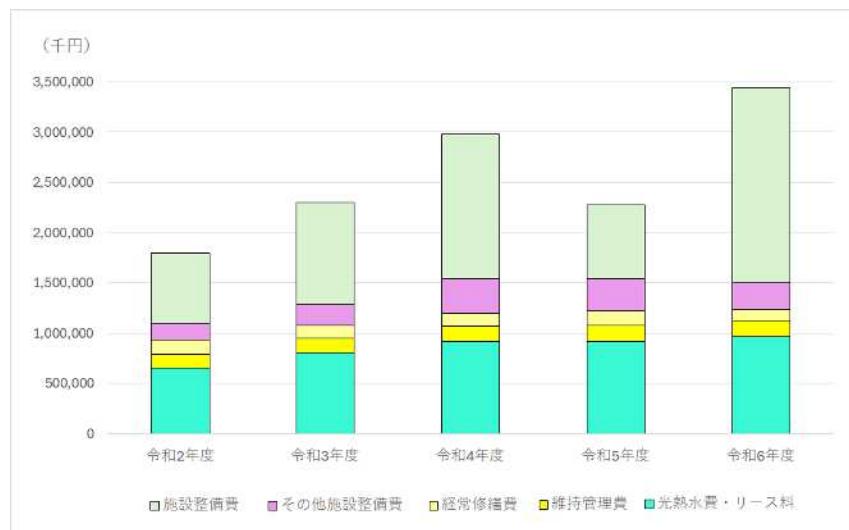
年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
学校改築基本方針	策定	【現方針】		おおむね10年程度を目途に改定										
学校改築基本計画	策定	【新計画】		必要に応じて改定		策定								
学校施設長寿命化計画	【前計画】改定	【後期計画】		策定		【新計画】								

「墨田区学校施設長寿命化計画（改定版）」（案）（改定の要点）

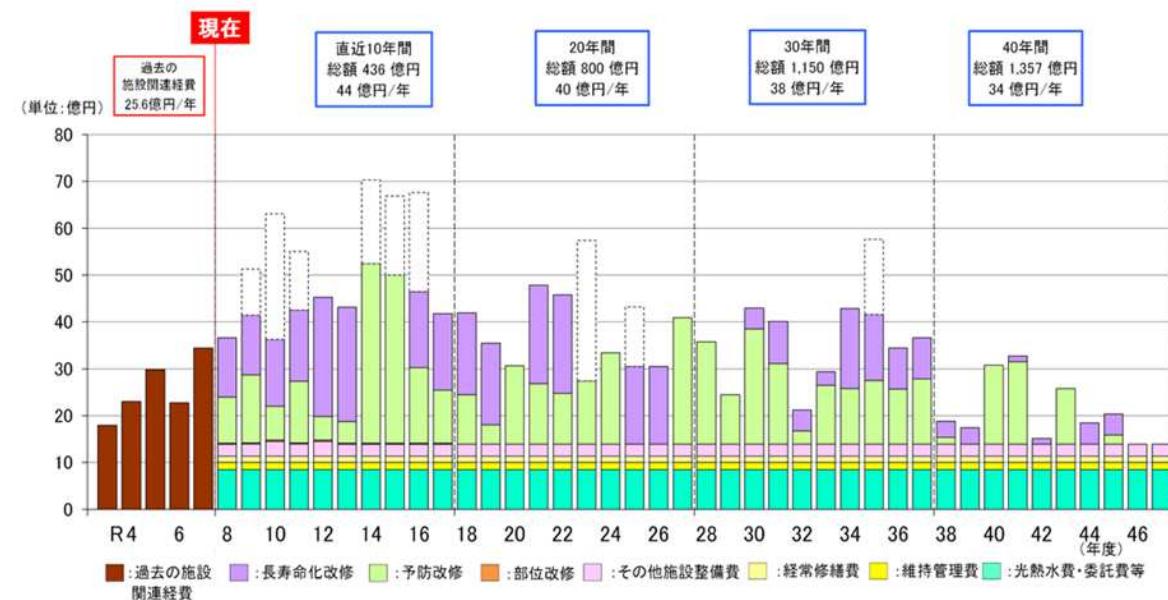
改定の要点

1. 維持管理コスト

本区の学校施設に係る令和2（2020）年度から令和6（2024）年度までの5年間の学校施設関連経費（維持・更新コスト、光熱水費等）は下図のとおり推移しており、年平均25.6億円となっています。



改築周期を80年とし、20, 60年目に予防修繕、40年目に長寿命化改修等を行う場合の試算は、今後40年間の維持コストでは総額1,357億円、1年あたりの経費では約34億円となります。



「墨田区学校施設長寿命化計画（改定版）」（案）（改定の要点）

改定の要点

2. 学校施設バリアフリー化整備計画

目的と現状

本区ではこれまで、改築時にバリアフリー化するだけではなく、既存の建物についてもバリアフリートイレの整備やスロープの設置を積極的に進めてきました。

一方で、エレベータ整備については、大規模な改修工事が必要になることなどから、低い整備率にとどまっています。このため、学校施設バリアフリー化整備計画により、整備の進め方と整備目標を明確にすることで、学校施設のバリアフリー化をいっそう推進することを目指します。

令和7（2025）年度末のバリアフリー化の状況は、右の表のとおりです。

バリアフリー化の状況		墨田区（小・中学校）				文部科学省の整備目標
		整備済	未整備	計	整備率	
バリアフリートイレ	校舎	35	0	35	100%	避難所指定の全ての学校
	屋内運動場	28	6	34	82.4%	
スロープ	門から建物の前まで	校舎	35	0	35	100%
		屋内運動場	34	0	34	100%
	昇降口、玄関から教室等まで	校舎	34	1	35	97.1%
		屋内運動場	34	0	34	100%
エレベータ	校舎	13	22	35	37.1%	要配慮児童生徒等が在籍する全ての学校
	屋内運動場	24	10	34	70.6%	

バリアフリートイレの未整備分については、屋内運動場が2階以上にあり、かつエレベータが整備されていないため、屋内運動場までのバリアフリー動線が確保されていないものです。

エレベータの未整備分については、改築時の整備または校舎と一緒にの大規模な改修が必要になっているものです。

「墨田区学校施設長寿命化計画（改定版）」（案）（改定の要点）

改定の要点

2. バリアフリー化整備計画

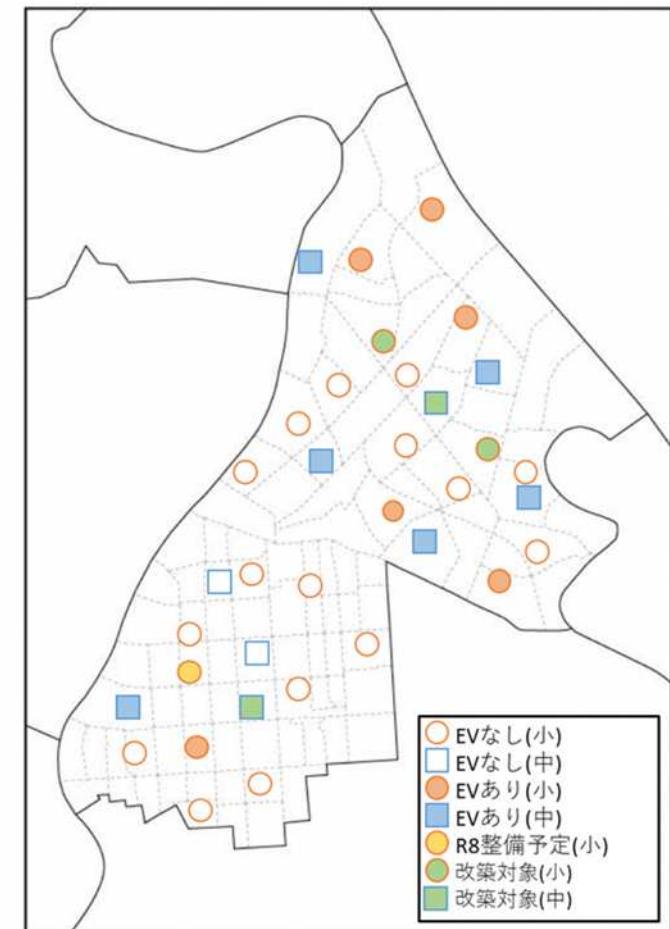
今後の進め方

エレベータについて、文部科学省の推進指針による整備目標は「要配慮児童生徒等が在籍する全ての学校」となっています。

エレベータ整備の計画としては、エレベータがない学校の場所に偏りないようにし、エレベータを必要とする子どもたちがなるべく自宅の近くの学校を選択して通学できるようにすることを目指します。

校舎のエレベータ整備状況は、改築予定も含め、右図のようになっており、エレベータのない小学校が区の南部地域に偏っていることがわかります。今後、これらの学校についてエレベータ整備のための長寿命化改修を計画します。

バリアフリー化の推進にあたっては、各種法令に準拠するのみならず、当事者の意見を反映して、より効果的な設備とすることができるよう、説明や意見聴取の機会を設けるように努めます。



「墨田区学校施設長寿命化計画（改定版）」（案）（改定の要点）

改定の要点

2. バリアフリー化整備計画

令和12（2030）年度末までの目標

・エレベータ

現在工事中の二葉小学校に加え、エレベータ整備のための長寿命化改修で2校に整備することを目標とします。

・バリアフリートイレ

屋内運動場のバリアフリートイレについては、エレベータ整備に合わせ、2校にバリアフリートイレを整備することを目標とします。この場合の整備率は85.7%となります。

・スロープ

文部科学省の目標は「100%」となっています。令和8（2026）年度末には達成する見込みです。

バリアフリー化の目標 (令和12(2030)年度末まで)		墨田区(小・中学校)				文部科学省 の整備目標
		整備済	未整備	計	整備率	
スロープ	バリアフリートイレ	校舎	35	0	35	100%
		屋内運動場	31	4	35	85.7%
	門から建物の 前まで	校舎	35	0	35	100%
		屋内運動場	35	0	35	100%
エレベータ	昇降口、玄関 から教室等ま で	校舎	35	0	35	100%
		屋内運動場	35	0	35	100%
		校舎	16	19	35	45.7%
		屋内運動場	27	8	35	77.1%